

旧朝日町浄水場配水塔



異人館風の八角のとんがり屋根を持つ、6本足の鉄脚に支えられた高さ22.3mの配水塔は、建設当時の大正12（1923）年頃高砂の人々の注目の的であったろう。大正13（1924）年1月1日より配水を初め、昭和41（1966）年7月に現役を引退した。現在、水道敷設のシンボルとして国の「登録有形文化財」に登録され、文化会館の駐車場の一角にそびえている。

